

平成26年 6月度 バージョンアップ項目

<施工図システム>

- 1 . 寄棟ガセット、勾配なりに対応
- 2 . 剛接ジョイントの芯合わせに対応
- 3 . 剛接ジョイントのフィラーの原寸出力を追加
- 4 . 胴縁ピースの集計、データの変更があっても枝番が変わらないよう変更
- 5 . ピン接ジョイントマーク、階、設計マークごとの設定に対応
- 6 . キャンティ梁先端斜め切り対応
- 7 . レイヤ出力対応
- 8 . ハイベースNEO対応
- 9 . 梁の修正溶接梁対応
- 10 . 梁の修正高速化
- 11 . スリーブ高速化
- 12 . 耐風梁クリアのマイナス値入力に対応
- 13 . 柱詳細、単品図 仕口上のペントハウス柱の穴表示に対応
- 14 . H部材でのハンチ時、自動でBH部材への対応
- 15 . コア仕口組立図 通り方向表示有無の選択対応
- 16 . 間柱、耐風梁入力での計測機能の追加
- 17 . 自社名設定、工事ごとの設定に対応

<胴縁システム>

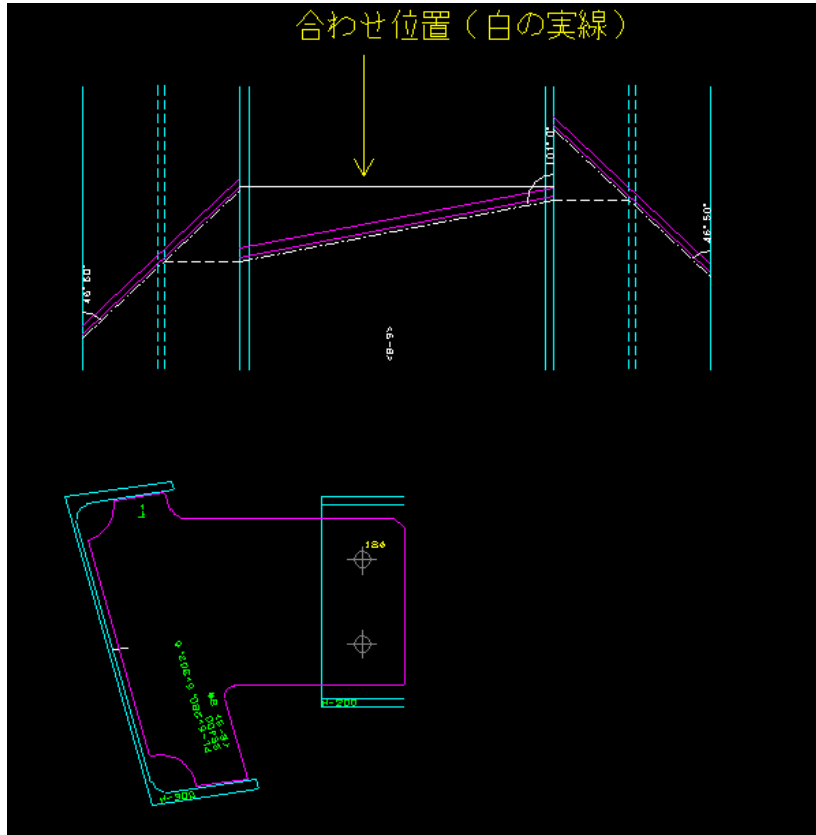
- 1 . 施工図変換データ、剛接ジョイントの芯合わせに対応
- 2 . 軸組ピースの集計を変更
- 3 . 胴縁加工図、縦2列孔の縦ピッチを表示するよう変更
- 4 . レイヤ設定を追加

<施工図システム>

1. 寄棟ガセット、勾配なりに対応

寄棟ガセット、勾配なりに対応しました。

隅梁（勾配のある斜め梁）に付く水平な小梁が勾配なりに転ぶ場合のガセットです。
原寸型紙出力例、



* 合わせ位置・・・単品の追い寸の位置になります。
梁単品図出力例、単品図に原寸型紙を合わせてあります。

組立加工指示書 <No. 9>	工号名	担当部	製品コード	281-1	1	切断コード	3602	発行日	9406 1月27日	No. 11
	977	H-30D×150×5.5×9	材種	99400	孔直径	9522	切断長		修正	作成
深さ仕等	MIS	0	工区	AIB						

スリット径	HTB記号	形式記号
M12	△	△
M16	△	△
M20	△	△
M22	△	△
M24	△	△

部品名	サイズ	長さ	数量	重量
99-1	H-30D×150	9902	1	130.8
P-8	A-0	801/313	2	8
合計重量				140.2

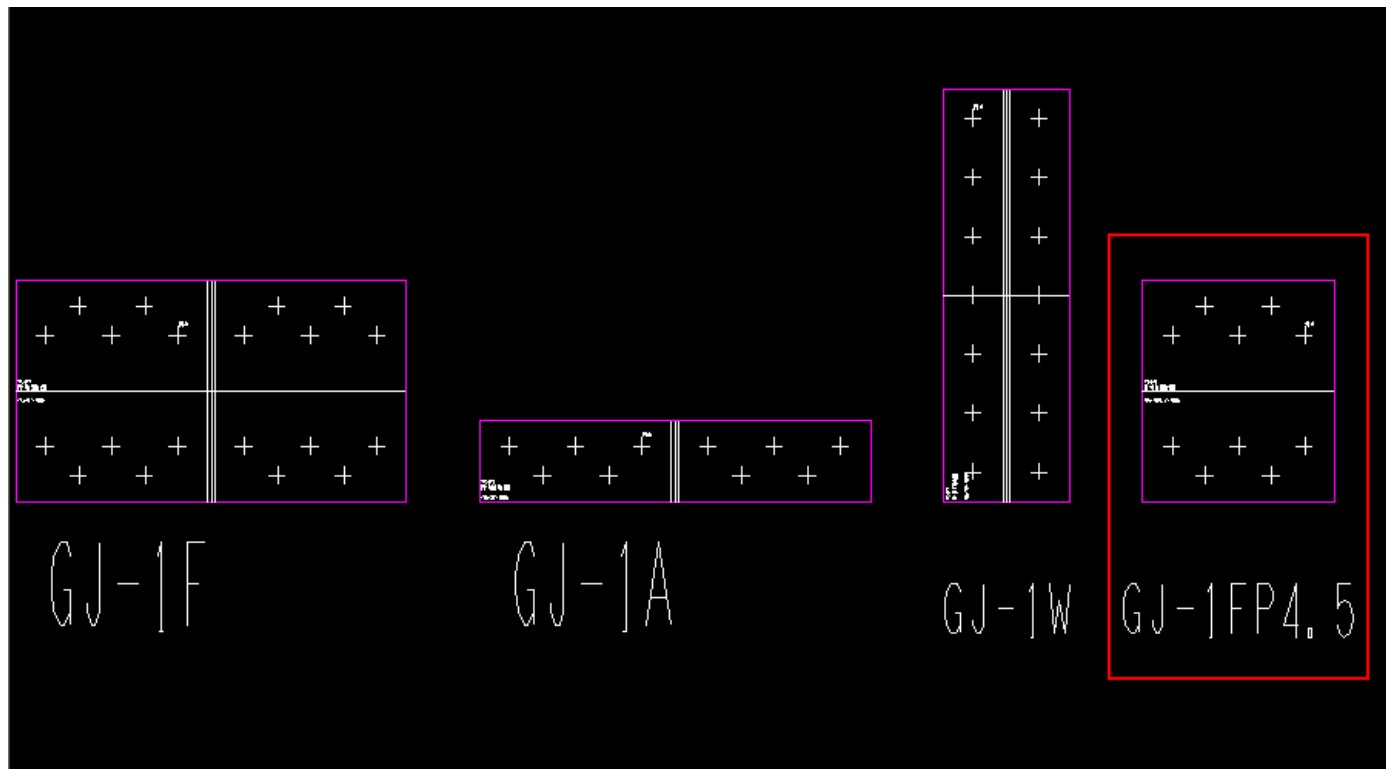
様式No.

3. 剛接ジョイントのフィラーの原寸出力を追加

剛接ジョイントのフィラーの原寸出力を追加しました。

合番は従来通り、「継手符号+“FP”+厚み」です。

剛接ジョイントの原寸型紙出力例、<芯合わせ>



4. 胴縁ピースの集計、データの変更があっても枝番が変わらないよう変更

胴縁ピースの集計、データの変更があっても枝番が変わらないようにしました。

胴縁システムと連動した場合の胴縁ピースの集計を修正しました。

- ・ ピースの長さが変わる変更があった場合に、合番（長さ毎の枝番）が変わらないようにしました。一度使用した枝番は、その長さのピースが無くなれば空き番になります。

5. ピン接ジョイントマーク、階、設計マークごとの設定に対応

ピン接ジョイントマークで、階、設計マークごとに設定できるようになりました。

<ジョイント>-<梁継手設定>

“部材サイズでまとめる”、“設計マークごとにジョイントを分ける”をクリックすることで、切替できます。

ジョイントマーク編集

ジョイントタイプ
 剛接合
 ピン接合

剛接継手板・ボルト表示設定(全工事共通)
 片面表示
 例> F 1SL-9x200x410 | 8-M20x70
 A 2SL-9x80x410
 W 1SL-9x260x170 | 4-M20x60
 全数表示
 例> F 2SL-9x200x410 | 24-M20x70
 A 4SL-9x80x410
 W 2SL-9x260x170 | 8-M20x60

自動ジョイント

 [決定]を押しますとジョイントマークを自動で設定します

RG1A	H-600x200x11x17	SN400B	BJ5
2B2, 2B2A, 3B2, 3B2A, 4B2, 4B2A, 5B2, 5B2A,	H-450x200x9x14	SS400	BJ450
2B3, 2B3A, 2B8, 3B3, 3B3A, 3B8, 4B3, 4B3A, 4	H-390x300x10x16	SS400	BJ390
2B1, 2B1A, 3B1, 3B1A, 4B1, 4B1A, 5B1, 5B1A,	H-350x175x7x11	SS400	BJ350
2B5, 2B5A, 3B5, 3B5A, 4B5, 4B5A, 5B5, 5B5A,	H-300x150x6.5x9	SS400	BJ300W
2B5, 2B5A, 3B5, 3B5A, 4B5, 4B5A, 5B5, 5B5A,	H-300x150x6.5x9	SS400	BJ300
2B4, 2B4A, 3B4, 3B4A, 4B4, 4B4A, 5B4, 5B4A,	H-294x200x8x12	SS400	BJ294
2B6, 3B6, 4B6, 5B6, 6B6, 7B6, 8B6, 9B6, RB6	H-250x125x6x9	SS400	BJ250
2B7, 3B7, 4B7, 5B7, 6B7, 7B7, 8B7, 9B7, RB7	H-244x175x7x11	SS400	BJ244
2B11, 2B11A, 3B11, 3B11A, 4B11, 4B11A, 5B11	H-200x100x5.5x8	SS400	BJ200W
2B11, 2B11A, 3B11, 3B11A, 4B11, 4B11A, 5B11	H-200x100x5.5x8	SS400	BJ200
2B9, 3B9, 4B9, 5B9, 6B9, 7B9, 8B9, 9B9, RB9	H-194x150x6x9	SS400	BJ194
2B10, 3B10, 4B10, 5B10, 6B10, 7B10, 8B10, 9	H-125x125x6.5x9	SS400	BJ125
2b, 3b, 4b, 5b, 6b, 7b, 8b, 9b, Rb	H-100x100x6x8	SS400	BJ100
3G1A, 4G1A, 5G1A	HY-700x300x12x28	SN400B	BJ1
6G1A	HY-700x300x12x25	SN400B	R.12

ジョイントマーク編集

ジョイントタイプ
 剛接合
 ピン接合

剛接継手板・ボルト表示設定(全工事共通)
 片面表示
 例> F 1SL-9x200x410 | 8-M20x70
 A 2SL-9x80x410
 W 1SL-9x260x170 | 4-M20x60
 全数表示
 例> F 2SL-9x200x410 | 24-M20x70
 A 4SL-9x80x410
 W 2SL-9x260x170 | 8-M20x60

自動ジョイント

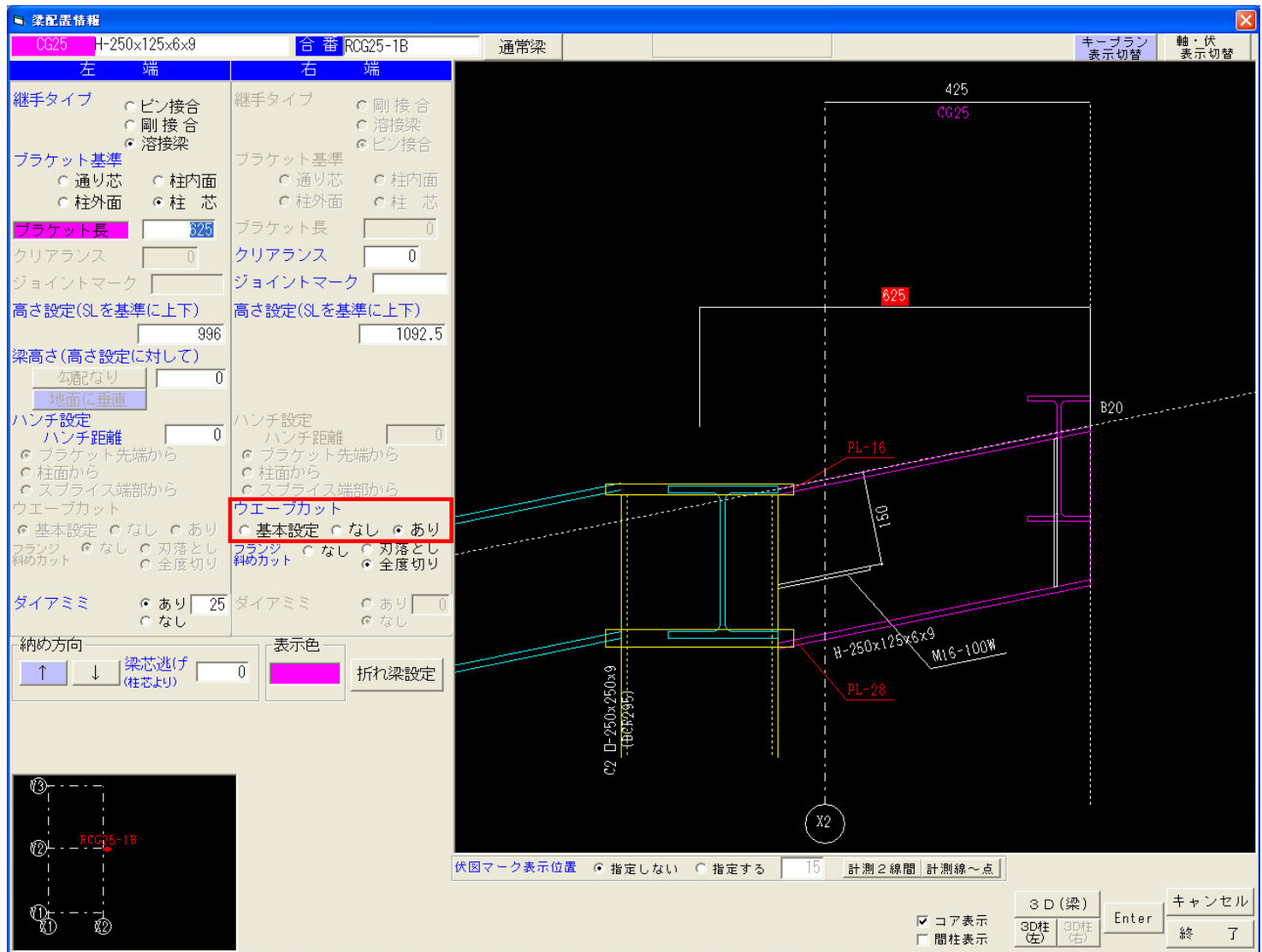
 [決定]を押しますとジョイントマークを自動で設定します

設計マーク	中央部	規格	ジョイントマーク
RG1A	H-600x200x11x17	SN400B	BJ5
3B2A	H-450x200x9x14	SS400	BJ450
3B2	H-450x200x9x14	SS400	BJ450
4B2A	H-450x200x9x14	SS400	BJ450
4B2	H-450x200x9x14	SS400	BJ450
5B2A	H-450x200x9x14	SS400	BJ450
5B2	H-450x200x9x14	SS400	BJ450
6B2A	H-450x200x9x14	SS400	BJ450
6B2	H-450x200x9x14	SS400	BJ450
7B2A	H-450x200x9x14	SS400	BJ450
7B2	H-450x200x9x14	SS400	BJ450
8B2A	H-450x200x9x14	SS400	BJ450
2B3A	H-390x300x10x16	SS400	BJ390
3B3A	H-390x300x10x16	SS400	BJ390
4B3A	H-390x300x10x16	SS400	R.1390

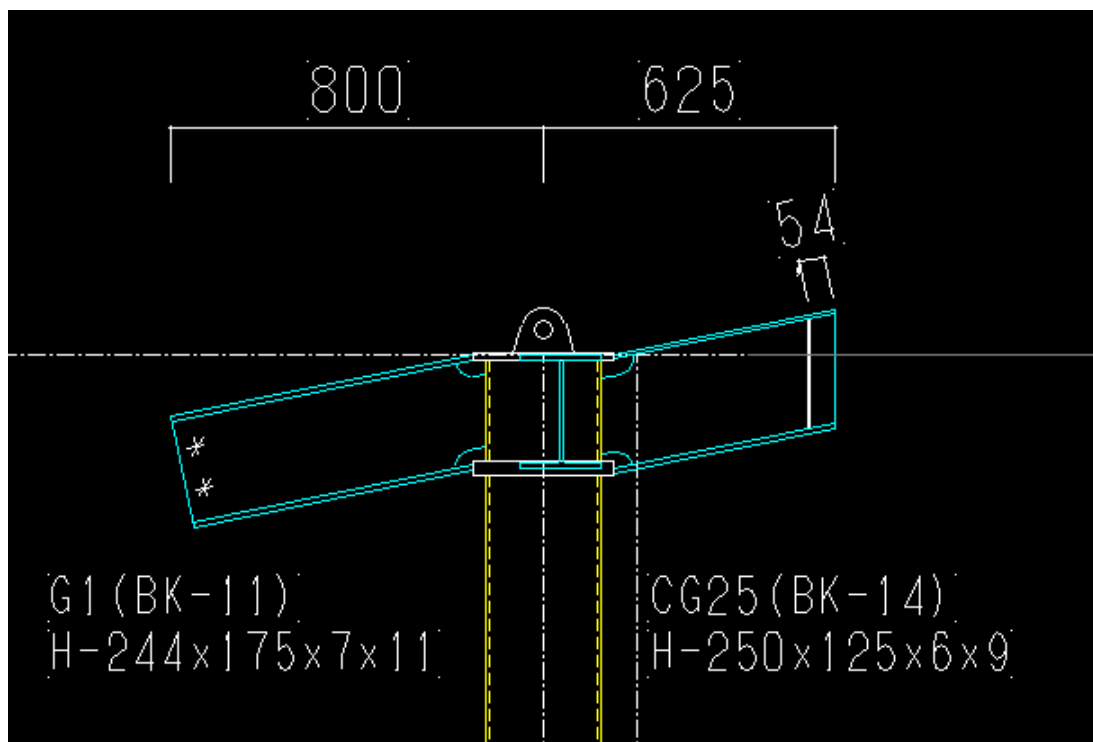
6. キャンティ梁先端斜め切り対応

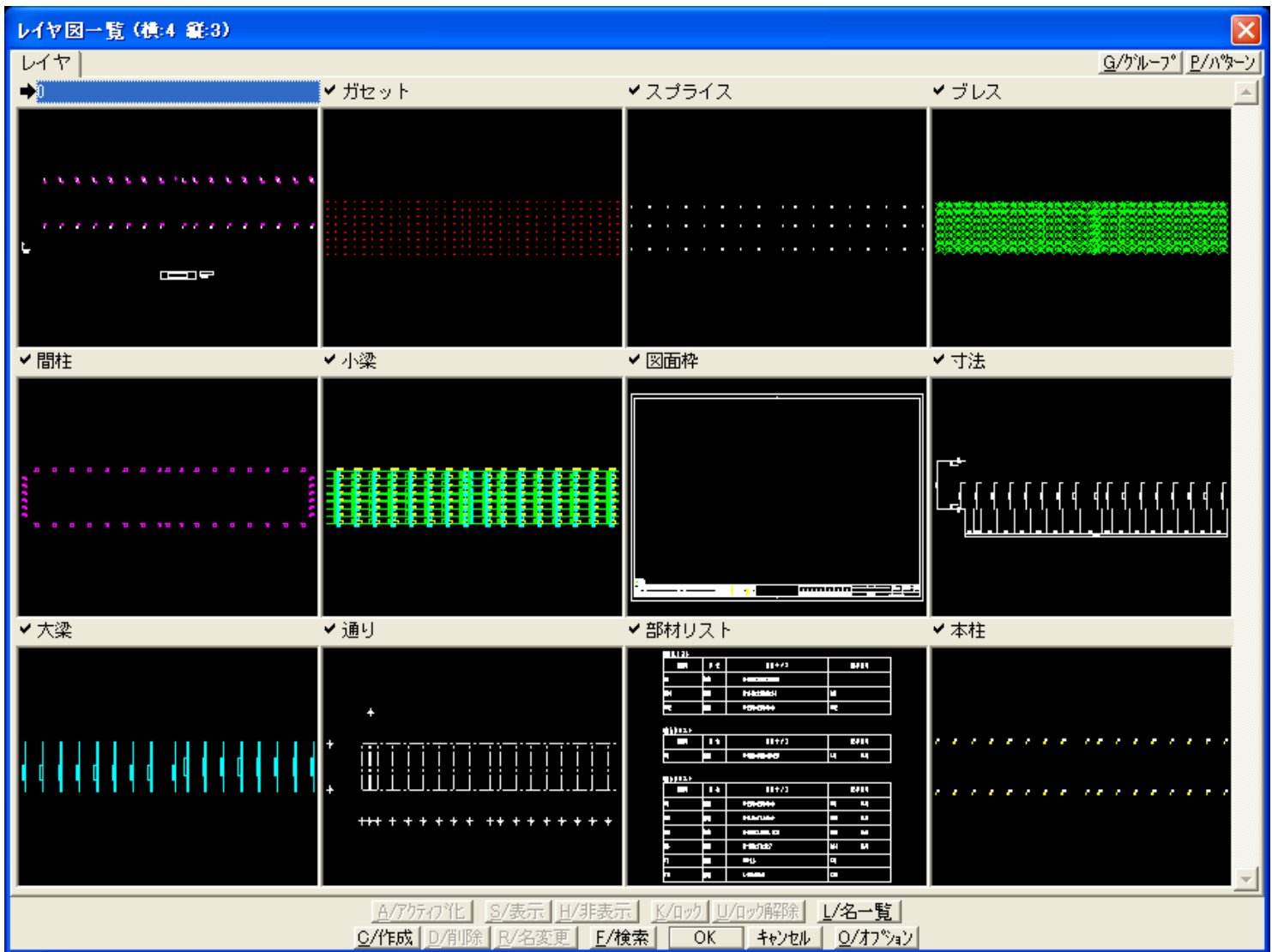
キャンティ梁先端の斜め切りに対応しました。

<伏図>-<梁の配置>-<梁の修正>でキャンティ梁を選択します。
ウエーブカットありを選択します。



柱単品図出力例：



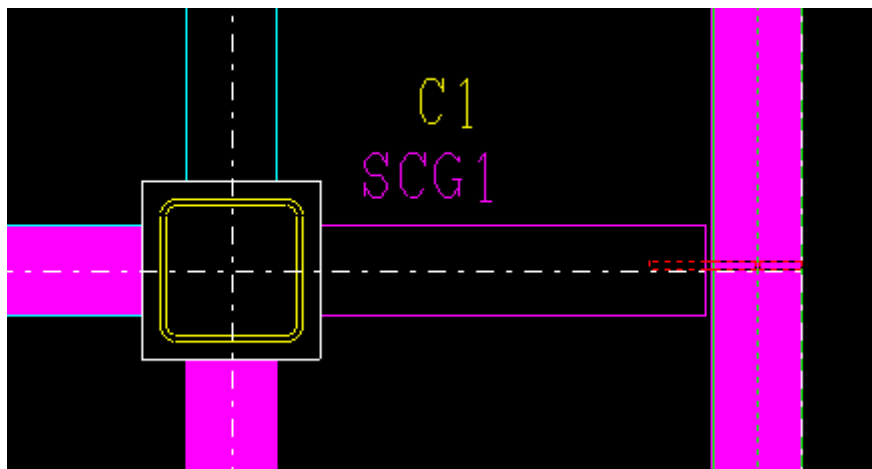


8. ハイベースNEO対応

ハイベースNEOに対応しました。

9. 梁の修正溶接梁対応

キャンティ梁の先端が、柱、梁の場合に対応しました。



10. 梁の修正高速化

梁の修正の処理を高速化しました。

11. スリーブ高速化

スリーブの処理を高速化しました。

1 2. 耐風梁クリアのマイナス値入力に対応

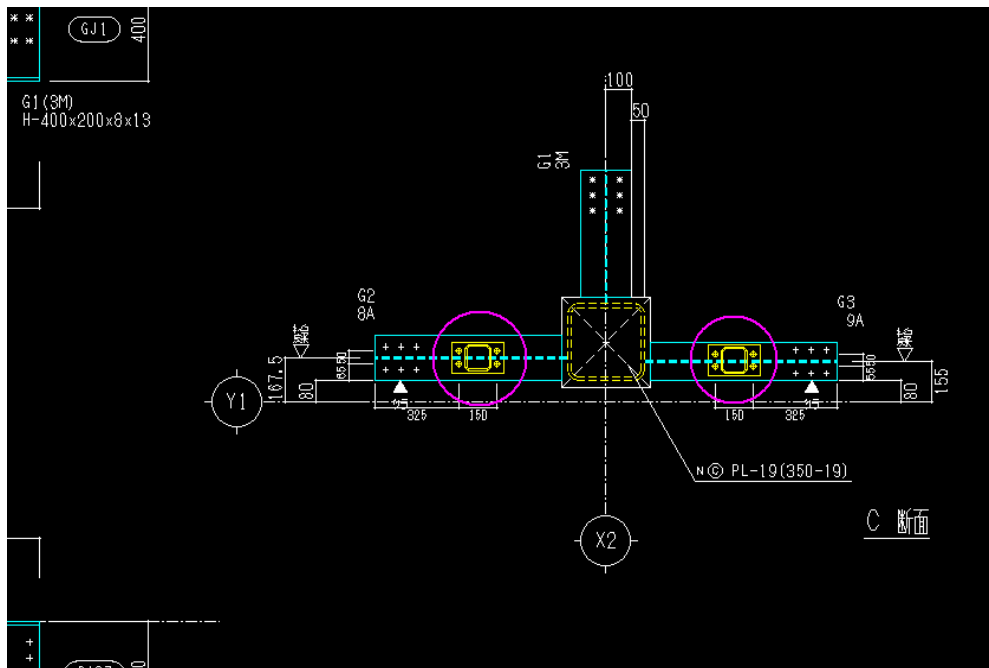
耐風梁のクリアにマイナス値が入力できるようになりました。



1 3. 柱詳細、単品図 仕口上のペントハウス柱の穴表示に対応

柱詳細図、単品図に仕口の上のペントハウス柱のベースが表示されるようになりました。

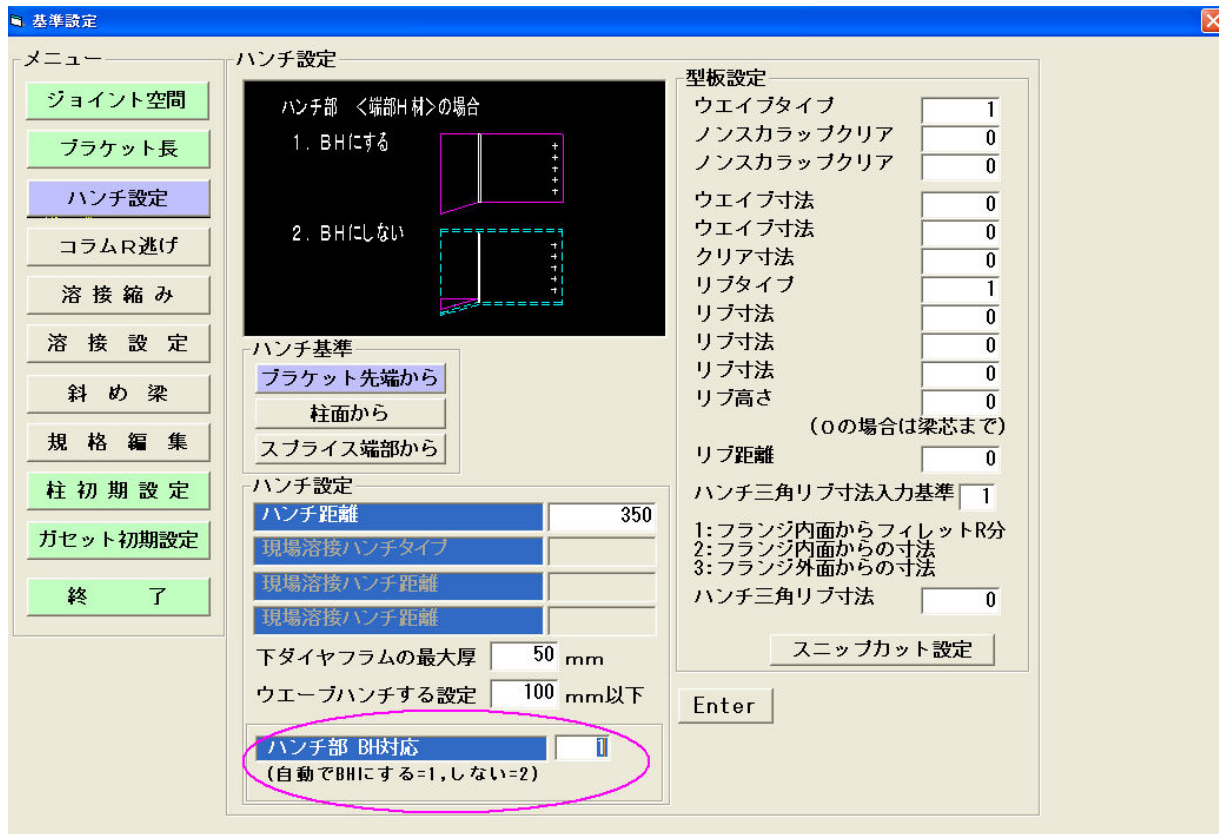
柱詳細出力サンプル



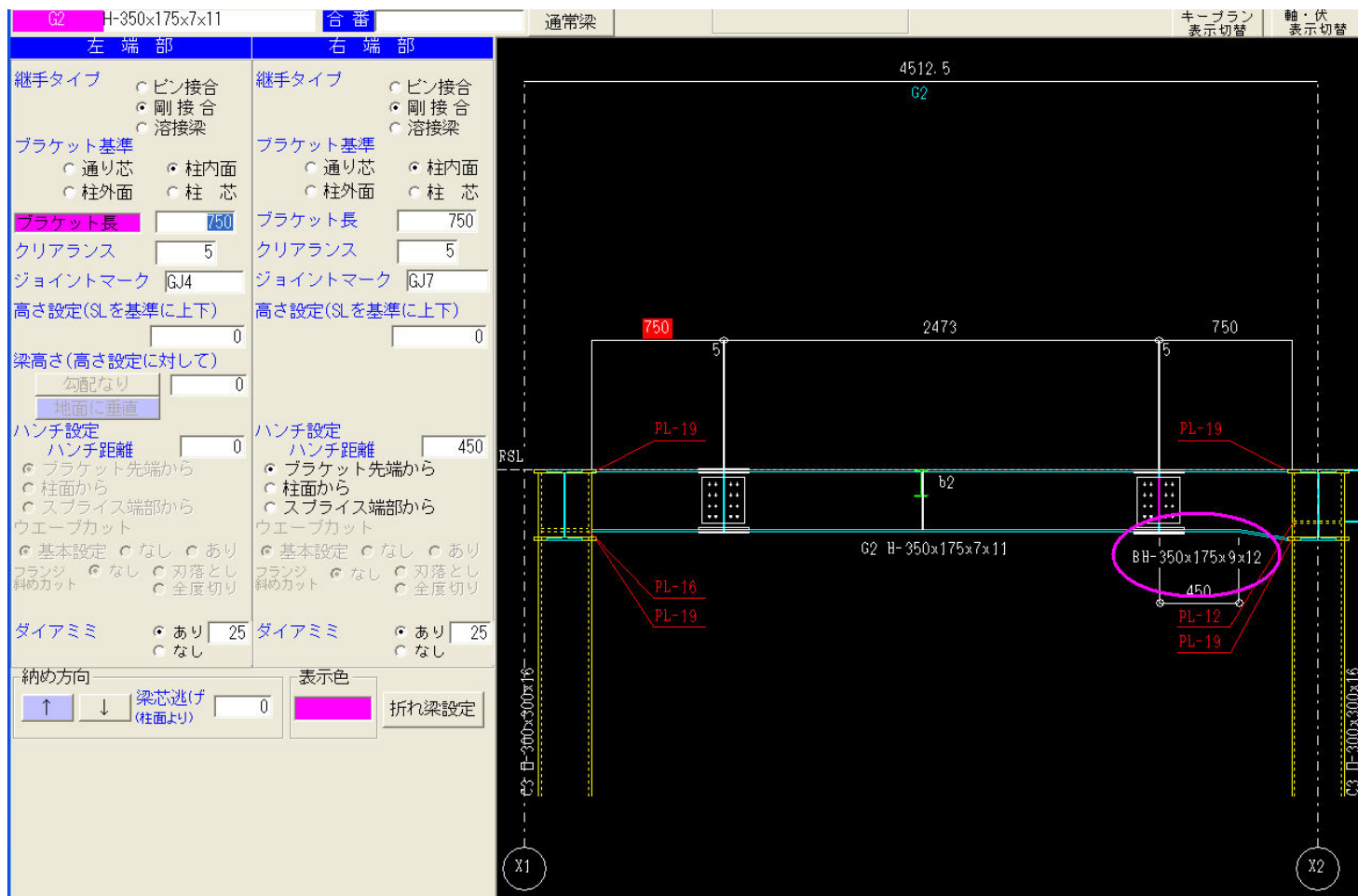
1 4. H部材でのハンチ時、自動でBH部材への対応

梁の端部材が”H”でハンチする時、自動的にBHにするか選択できるようになりました。

<基準設定> - <ハンチ設定> - <ハンチ部BH対応>で設定できます。



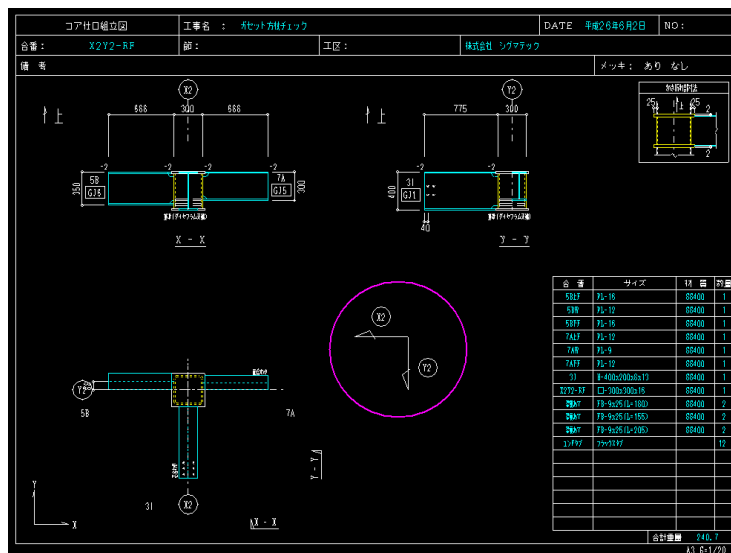
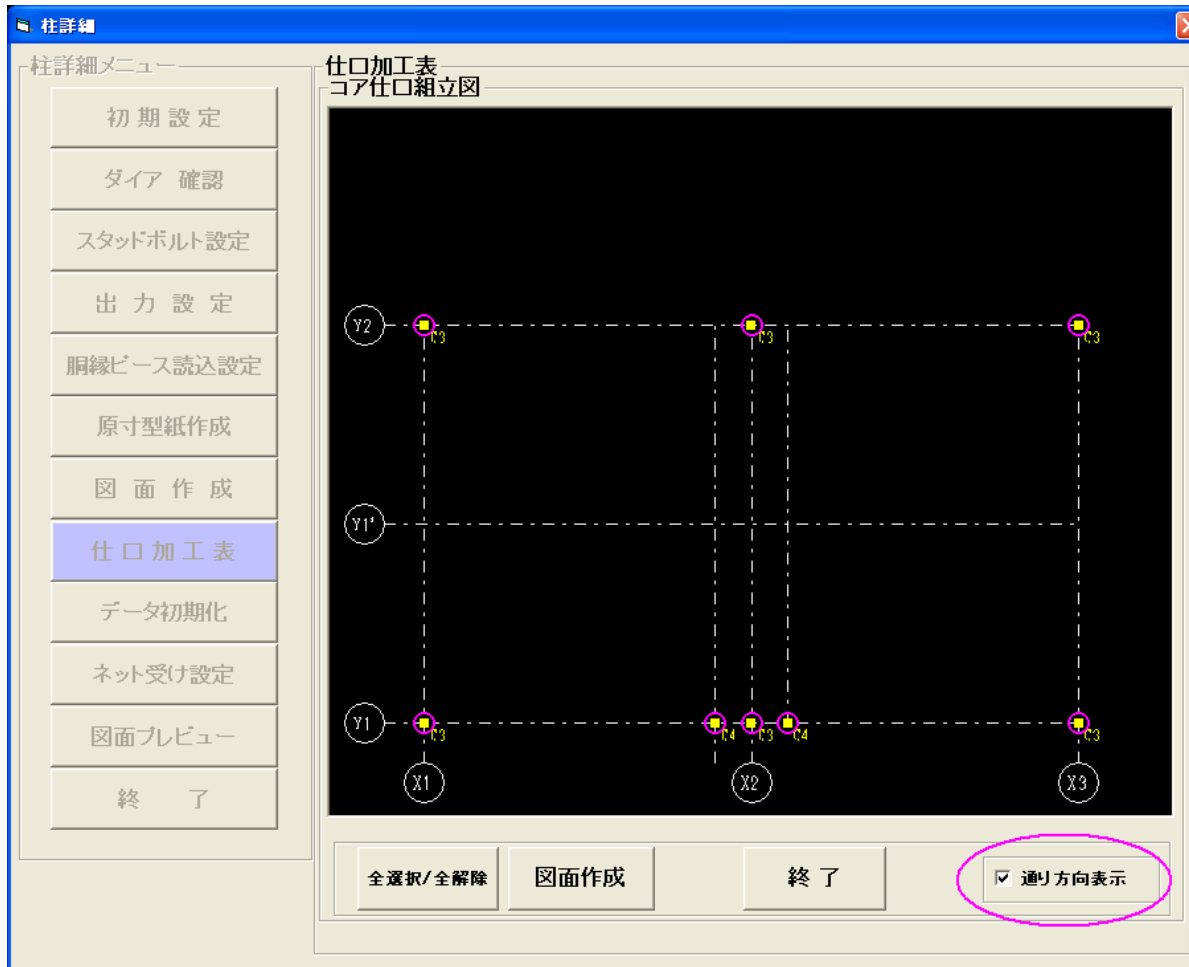
ハンチ距離を入力すると端部材が自動でBH材になります。



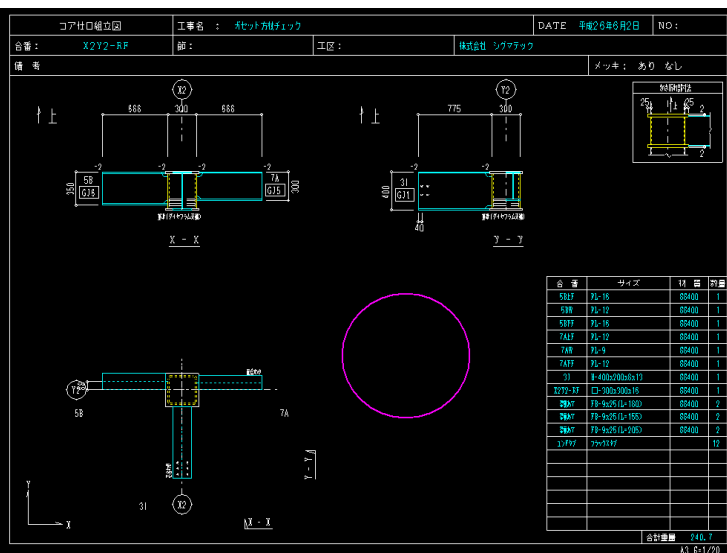
15. コア仕口組立図 通り方向表示有無の選択対応

コア仕口組立図の通り方向の表示の有無を選択できるようになりました。

<柱詳細>—<仕口加工表>—<コア仕口組立図>で設定できます。
表示する場合は、チェックを入れてください。



チェックあり



チェックなし

16. 間柱、耐風梁入力での計測機能の追加

間柱耐風梁配置の軸画面で、計測機能が使えるようになりました。

右下の計測したい項目を選択してから、左側軸図の要素を選択してください。
計測結果が表示されます。

The screenshot shows the '間柱、耐風梁配置' (Column and Wind-resistant Beam Configuration) software interface. The main window displays a plan view of a structure with columns and beams. A dialog box titled '線～線 計測結果' (Line to Line Measurement Result) shows a measurement result of 2725 mm. The right sidebar contains various configuration options and a '通り選択' (Through Selection) section with a diagram and buttons for '計測' (Measure) and '2線間' (Between 2 lines). A pink oval highlights the '計測' (Measure) button and the '2線間' (Between 2 lines) option in the '通り選択' section.

17. 自社名設定、工事ごとの設定に対応

自社名設定が工事ごとに設定できるようになりました。

<胴縁システム>

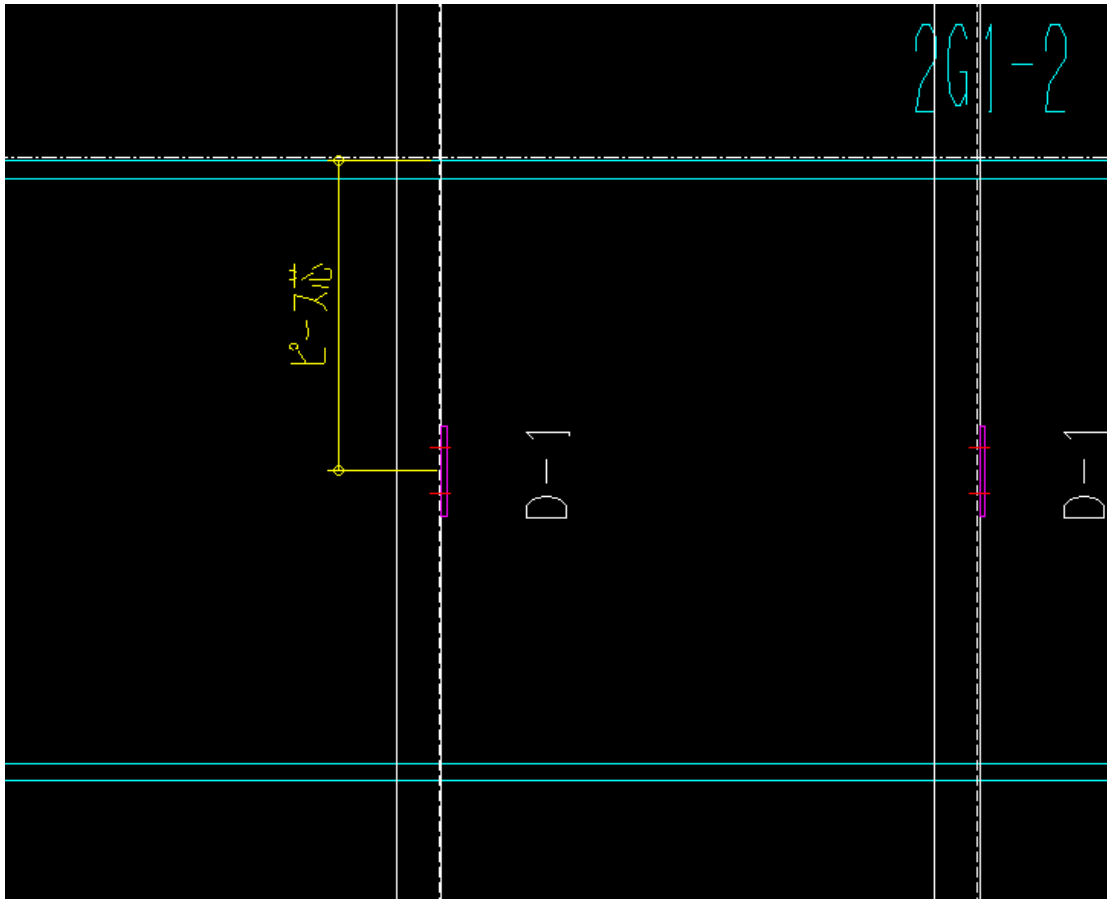
1. 施工図変換データ、剛接ジョイントの芯合わせに対応

施工図変換データ、剛接ジョイントの芯合わせに対応しました。

※施工図システムで「芯合わせ」を使用する場合は、胴縁システムの有償版V5以降を使用して下さい。

梁との取り合いのピースの配置位置が「天端合わせ」とは変わります。

ピース自動配置後の画面



2. 軸組ピースの集計を変更

軸組ピースの集計を変更しました。

- ・ 1つの工事内で合番（長さ毎の枝番）を共通にしました。
- ・ 施工図と連動した物件は、施工図で集計したピースの合番（長さ毎の枝番）と同じになります。

3. 胴縁加工図、縦2列孔の縦ピッチを表示するよう変更

胴縁加工図、縦2列孔の縦ピッチを表示するようになりました。（B4縦4列は除く）

「初期設定」-「出力設定」-「加工図2」で表示の有無を選択します。

「出力設定」の画面

出力設定

集計1 | 集計2 | 割付図 | 加工図1 | **加工図2** | 加工図3 | 加工図4 | その他

ピース間のピッチ表示(2段目)
 有 無

孔加工間のピッチ表示(3段目)
 有 無

溶接加工間のピッチ表示(4・5段目)
 有 無

端部ピースの孔加工の追い寸
 有 無

プレート加工の寸法線
 ピース毎 孔毎

端部ピースのプレート加工の基準位置
 端部に近い方の孔 プレート芯

端部ピースのクリア表示
 有 無

ピース符号の表示
 有 無

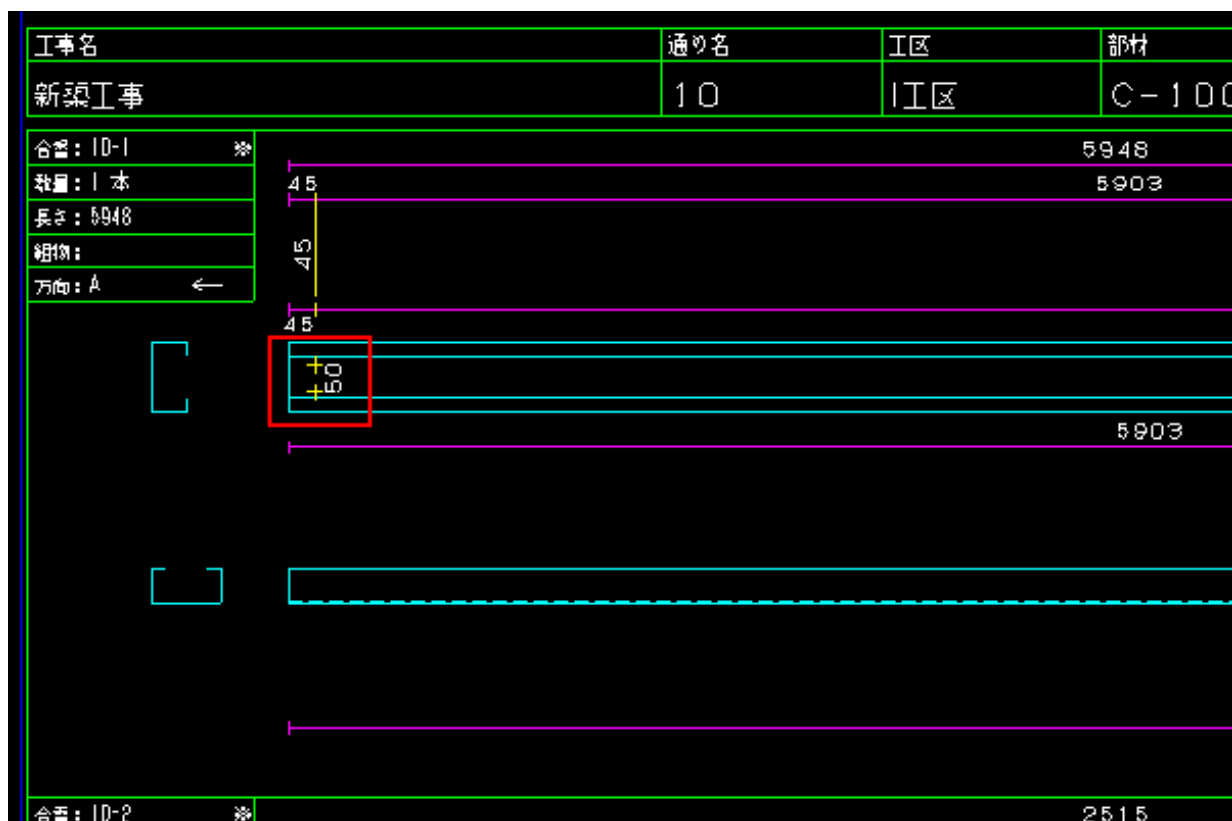
ピース(溶接)の芯ズレ寸法
 有 無
 断面 側面

縦2列孔のピッチ表示
 有 無

工事別の設定です 終了

※「シグマF 1 加工図読取システム」で胴縁システムから出力した図面を読み込んだ場合に縦ピッチを自動でセットします。

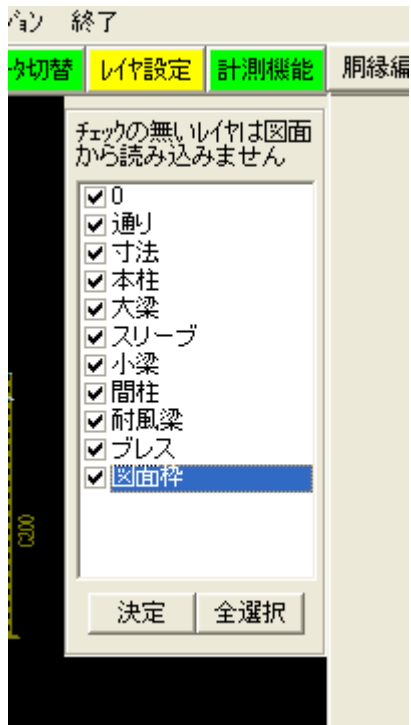
加工図出力例



4. レイヤ設定を追加

元図にレイヤが設定してある場合にレイヤ毎に表示の有無を選択できるようにしました。

レイヤのある図面の例



※図面出力時（割付図・組立図）は、レイヤ分けの有無を選択できます。